

まほろば



2017.1
第185号

新年のご挨拶

皆さん、新年明けましておめでとうございます。今年の初夢は如何だったでしょうか？新年を迎えるにあたって一言ご挨拶を申し上げます。

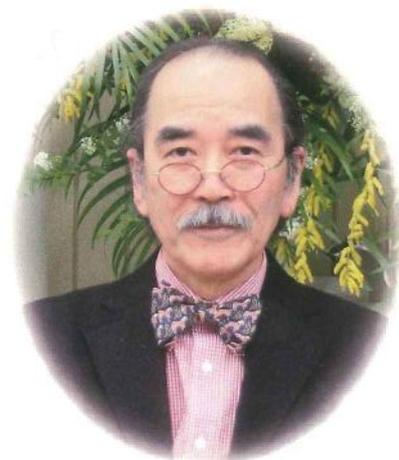
昨年よりマスコミでも報道されています『新中核病院』の整備に関して、現状をお知らせします。今回、国立病院機構と弘前市は、県が指導する『地域医療構想』の枠組みの中で、当院と弘前市立病院との統合を軸とした『つがる地区地域医療構想』を進めることとなりました。現在、提携に向けた様々な問題点を解決すべく調整作業が行われております。現時点では、『新中核病院』は、ベッド数450程度で、2020年4月頃の開設をめどに、弘前病院の敷地内に救命救急センター・外来棟・管理棟および追加分の新病棟などの新たな施設を建築予定です。

このプロジェクトの背景には、今後の人口減少・両施設の老朽化などへの対応が必要になったことなどがあります。さらに病院機能を集約し患者さんへの適切な医療を提供する体制を整えることができます。市としては救命救急センターを構築し、二次救急医療の充実を図るという大きな目標があります。国立病院機構としては従来担ってきた政策医療を進め、二次的急性期病院としての機能を十分果たし、さらに医療関係者の教育も進める使命があります。

この教育に関して、本年4月から7人が初期研修をスタートします。大学のCプログラムの4人を加え、11人ということになります。昨年の3名から一気に増加することで、部屋の問題、指導態勢の問題など多くのことを考える必要が出てきましたが、嬉しいことでもあります。

合併の問題、研修医の教育、学部学生の教育など、新しい局面への第一歩ととらえ、職員の皆さんとともに知恵を出し進みたいと考えています。超えなければいけないハードルは沢山ありますが、特に『新中核病院』の整備に関しては、医学部・医学部附属病院並びに県のバックアップを受け、市民病院と弘前病院、機構本部と市が良好な連携を組み、市民が納得する機能を持った病院をめざし努力すべきであると考えています。皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

統括病院長：藤 哲



国立病院総合医学会でベストポスター賞をいただきました



平成 28 年 11 月 11 日に沖縄で開催された第 70 回国立病院総合医学会に出席しました。この日の沖縄は、日本列島に寒気が流れ込んだためか南国とはいえ肌寒く、灰色の海と雨交じりの強風に出迎えられてしまいました。しかしどの会場も非常に混雑しており、看護師、技師、事務職員など様々な職種が一堂に集まる学会はきわめて新鮮に感じました。

今回は交通事故による頸部痛についての演題を発表しました。夜間休日の 7 救急外来と日中の整形外科外来には多くの交通事故の患者さんが受診しますが、そのような患者さんに何か一定の傾向

があるかどうか調べてみようと考えて、「交通事故による外傷性頸部症候群の検討」という題名で発表しました。発表にあたっては 300 名以上のカルテを調査しましたが、ベストポスター賞をいただくことができ、副賞として琉球ガラスの箸置きをいただきました。調査に協力していただいた整形外科のドクター・クラークの皆さんには非常に感謝しております。

整形外科部長：秋元 博之



北東北国立病院医療研究会の開催

本会は第 1 2 回目の開催となります。今回は 61 演題を得ることができ 12 月 3 日 (土) 国立病院機構弘前病院附属看護学校内をメイン会場とし、ポスター発表、クリニカル・クラークシップ症例発表が掲示されました。若手の看護師やコメディカル部門の技師による口頭での説明では、それぞれの品質管理の取り組みが熱弁され、「骨折予防」「がん患者への栄養指導」「術後の QOL」などバラエティーに富んだ内容でした。

隣接する弘前病院地域医療研修センターでは口演発表が行われ、「穿通枝皮弁術」の貴重なお話や、

「厚労省での勤務経験」、「放射線治療の精度管理」など興味深いものばかりであり、活発な質疑の中で予定時間も延長するほど充実した研究会となりました。

この研究会は青森・秋田・岩手の 3 県ではありますが、種々の特色を持ちながらも情報共有が可能な国立病院機構 143 病院のネットワークに所属している弘前病院は、その強みを生かすことで一層地域医療の質向上に寄与できるよう研鑽を積んでいます。

診療放射線技師長：杉田 章

【ポスター発表】



【口演発表】



平成28年度 病院間医療安全相互チェックを受けて

国立病院機構では、各病院における医療安全の質の向上と均てん化を図ることを目的に平成 24 年から病院間医療安全相互チェックを実施しています。

今年度、弘前病院は、10 月から 12 月の間に仙台医療センター、仙台西多賀病院の 3 病院で病院間医療安全相互チェックを行い、医療安全対策の現状について意見交換し、互いにチェックと評価をいたしました。

平成 25 年度に続き、2 度目の相互チェックを受けた当院は、医療安全マニュアルの内容見直しや電子カルテシステムを活用して電子化を図ることも必要ではないかと指摘を受けました。医療安全

管理係長として、紙媒体による保管のみでなく、電子カルテで閲覧できるような体制整備の必要性を感じたのはもちろんですが、一緒に相互チェックに参加した各部署のリスクマネージャーもその必要性を感じ、マニュアルの見直しに向け、協力的に動き始めています。相互チェックを受けることで、医療安全対策に対する意識の高まりを感じることができ、患者さんに安全な医療を提供することを考える有意義な時間であったと思います。これをきっかけに、今後も部署リスクマネージャーと協力して引き続き医療安全対策に取り組んでいこうと気持ちを新たにしました。

医療安全管理係長：吉田 利枝



接遇研修を開催して

平成 28 年 12 月 12 日 (月)・13 日 (火) の 2 日間、医療サービス向上委員会主催により全職員対象の「接遇研修」を開催しました。接遇インストラクター大坂陽子先生を講師としてお迎えし、両日で 85 名の参加がありました。

今回の研修会では、毎月実施している「退院時患者アンケート」よりいただいている貴重なご意見や、委員より事前に日頃感じている問題点を事例として、研修に取り入れながらお話いただきま

した。また、日ごろ自分たちが何気に行っている言葉や態度や姿勢が、相手にどのような印象を与えるか、対面にて体験するなど実践に即した研修となりました。

研修を受けた方々からは、今後に役立てたいという意見が多く、よく理解され、有意義であったと考えます。これからも一人ひとりの患者さまと向き合い、医療サービスの向上に努めてまいります。

医療サービス向上委員会 看護師長：清野 忍



外来診療一覽

◆外来医師診療一覽表 (2017年1月4日現在)

診療科	区分	月	火	水	木	金
循環器内科		熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹
呼吸器科		中川英之	山本勝丸	中川英之	山本勝丸	中川英之
		山本勝丸	下山垂矢子	下山垂矢子	下山垂矢子	下山垂矢子
		下山垂矢子	森本武史	森本武史	—	森本武史
		—	石岡佳子	—	—	—
消化器・血液内科		鎌田耕輔	佐竹立	佐竹立	鎌田耕輔	佐竹立
		松木明彦	山口公平	松木明彦	松木明彦	山口公平
		佐藤年信	松木明彦/立田卓登	佐藤年信	秋元直樹	佐藤年信
		石黒陽	石黒陽	—	石黒陽	石黒陽
小児科		杉本和彦	佐藤工	佐藤啓	佐藤工	杉本和彦
		三上珠希	岡本剛	三上珠希	岡本剛	佐藤啓
外科		柴田滋	中井款	柴田滋	中井款	三上勝也
乳腺外科		小田桐弘毅	小田桐弘毅	小田桐弘毅	櫻庭弘康	小田桐弘毅
整形外科	午前	佐々木静	秋元博之	秋元博之	休診 (手術)	秋元博之
		飯尾浩平	佐々木静	飯尾浩平		佐々木静
	藤田拓	飯尾浩平	(佐々木静)	(飯尾浩平)		
	午後	—	—	—	休診	
脳神経外科		—	—	木村正英	—	—
皮膚科	午前	熊野高行	佐藤正憲	佐藤正憲	熊野高行	熊野高行
		佐藤正憲	熊野高行	熊野高行	佐藤正憲	佐藤正憲
	午後	● 予約	● 手術/検査	● 予約	● 手術/検査	● 予約
泌尿器科	午前	野呂大輔	野呂大輔	弘前大学医師	野呂大輔	神村典孝
	午後	検査	検査	手術	検査	手術
産婦人科		阿部和弘	丹藤伴江	丹藤伴江	● 妊婦健診 (一般外来休診)	阿部和弘
		田中加奈子	淵之上康平	田中加奈子		松村由紀子
眼科		蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義
耳鼻咽喉科		工藤直美	原隆太郎	—	三國谷由貴	—
放射線科	診断	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄
	治療	—	—	川口英夫 (午後)	—	川口英夫 (午後)
女性専用外来		杉本菜穂子(※予約制/第1・第3水曜日午後診療)				
セカンドオピニオン		—	—	—	今充	—

※ 学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。

お知らせ

患者相談窓口
『患者相談室』のMSW(メディカルソーシャルワーカー)が対応していますので、お気軽にお尋ね下さい。

編集委員会より
当院の広報誌『まほろば』は、地域に信頼され、納得の医療で地域に貢献しつつ、地域と協働して歩む病院づくりを目指し、地域の方々を対象に編集しております。皆さまから病院に対して『不安なことや不満足なこと』『ご批判やご指摘』また、『お褒めのことば』を職員一同お待ちしております。

発行元



Hirosaki National Hospital
独立行政法人国立病院機構

弘前病院

責任者：副院長 小田桐 弘 毅

〒036-8545 弘前市大字富野町1番地
TEL 0172-32-4311
FAX 0172-33-8614
URL <http://www.aoi-mori.net/~hirosaki/>